

# 2025年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2025年2月12日

ソフトバンクグループ株式会社



## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」([https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設定又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

## 本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4
1米ドル	138.11	145.44	147.00	147.87	156.53	150.26	151.32	
期末レート	2023/6月末	2023/9月末	2023/12月末	2024/3月末	2024/6月末	2024/9月末	2024/12月末	2025/3月末
1米ドル				151.41			158.18	

## 略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
Arm または アーム	Arm Holdings plc
Tモバイル	Sprintと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

## その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

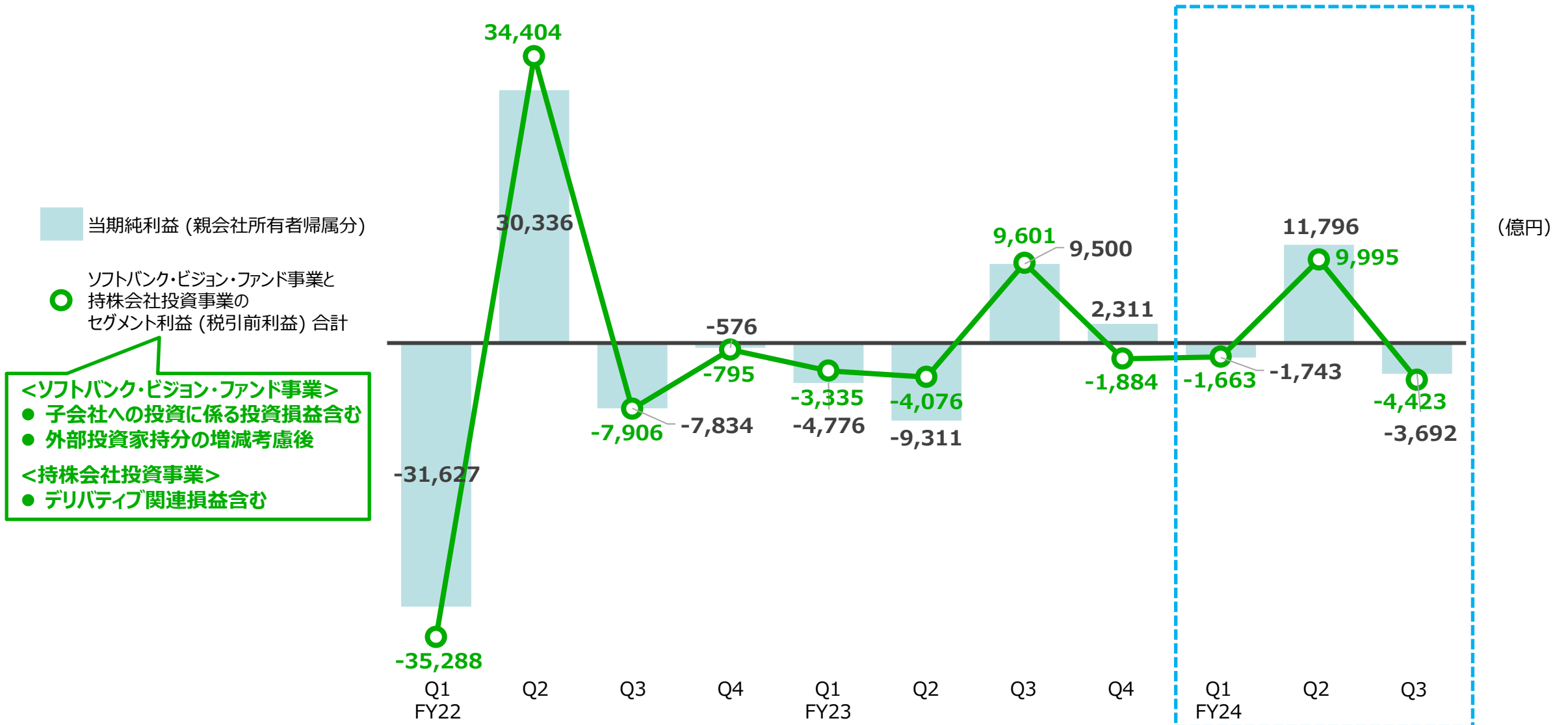
# 經理編

# 連結業績概況

(億円)	FY23 Q1-Q3	FY24 Q1-Q3	増減額	増減率
売上高	50,019	53,026	+3,007	+6.0%
税引前利益	2,641	12,709	+10,069	+381.3%
当期純利益 (親会社所有者帰属分)	-4,587	6,362	+10,949	—
(参考)				
投資損益合計	-5,389	21,700	+27,090	—
持株会社投資事業	-5,834	20,085	+25,919	—
ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業 (子会社への投資に係る投資損益含まず)	-520	2,608	+3,127	—
その他	965	-992	-1,957	—

アームやSBKKなどの当社子会社は連結されるため、株式の公正価値の変動は連結P/Lに計上せず

# 当期純利益およびSVF事業+持株会社投資事業のセグメント利益



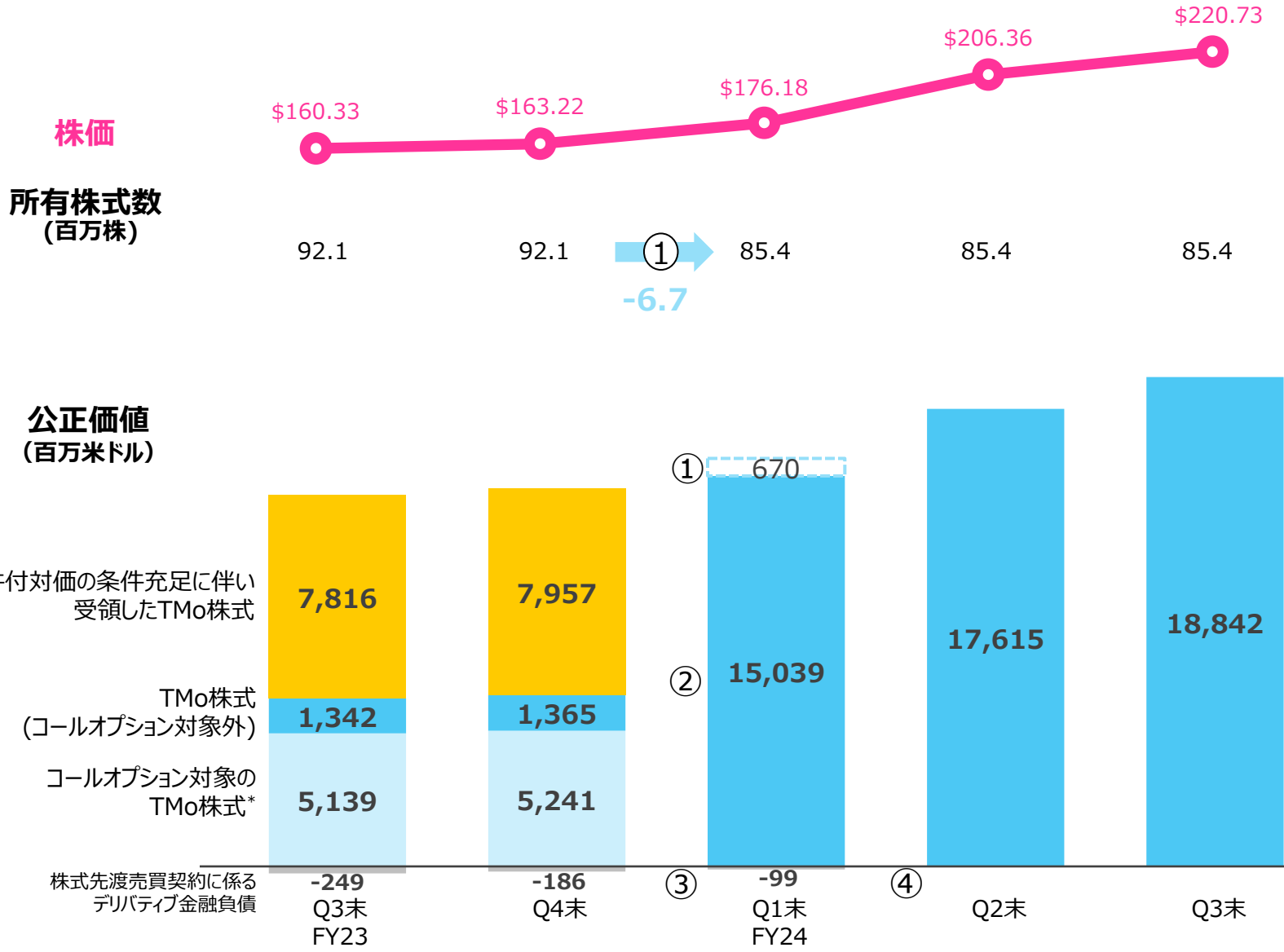
アームやSBKKなどの当社子会社は連結されるため、株式の公正価値の変動は連結P/Lに計上せず

# 持株会社投資事業

(億円)

P/L項目	FY23 Q1-Q3	FY24 Q1-Q3	FY24Q1-Q3摘要
<b>持株会社投資事業からの投資損益</b>	<b>-5,834</b>	<b>20,085</b>	
資産運用子会社からの投資の実現損益	-907	-416	
資産運用子会社からの投資の未実現評価損益	333	309	
投資の実現損益	-183	-156	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tモバイル株式6.7百万株の売却に伴う実現利益 +783億円 (詳細はp5参照)</li> <li>・アリババ株式を活用した先渡売買契約の現物決済に伴う実現損失 -843億円</li> </ul>
投資の未実現評価損益	-7,626	19,957	
当期計上額	-7,941	15,093	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tモバイルの株価上昇に伴う、Q3末に引き続き保有する同社株式に係る公正価値の増加 +7,459億円</li> <li>・アリババの株価上昇に伴う、Q3末に引き続き保有する同社株式に係る公正価値の増加 +4,687億円</li> <li>・ドイツテレコムの子会社株式の株価上昇に伴う同社株式に係る公正価値の増加 +1,908億円</li> </ul>
過年度計上額のうち実現損益への振替額	315	4,864	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリババ株式を活用した先渡売買契約の現物決済に伴い、過年度に計上した未実現評価損失を実現損失へ振替 +5,185億円</li> <li>・Tモバイル株式6.7百万株の売却に伴い、過年度に計上した未実現評価利益を実現利益へ振替 -500億円 (詳細はp5参照)</li> </ul>
投資に係るデリバティブ関連損益	2,254	-248	Tモバイル株式6.7百万株の売却に伴うデリバティブ関連損失 -178億円 (詳細はp5参照)
為替換算影響額	65	-19	
その他	230	656	
販売費及び一般管理費	-680	-937	
財務費用	-3,460	-4,029	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBGと資金調達を行う100%子会社の支払利息 -3,310億円</li> <li>・2023年8月に行ったSVF1からのアーム株式の取得の対価のうち未払金に係る償却原価 -701億円 (連結上消去)</li> </ul>
為替差損益	-3,067	-2,560	円安の影響 (詳細はp18-19参照)
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	11,788	-8,025	アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連損失 -6,359億円
その他の損益	1,195	787	
<b>セグメント利益 (税引前利益)</b>	<b>-59</b>	<b>5,320</b>	

# Tモバイル株式：当社所有株式数および公正価値



## FY24Q1の事象

① DTのコールオプションの一部行使に伴い、6.7百万株のTMo株式を670百万米ドルで売却

② 残りの28.2百万株を対象としたDTのコールオプションは消滅

③ 20.0百万株のTMo株式を活用した株式先渡売買契約を現金で決済

## FY24Q2の事象

④ 残り4.8百万株のTMo株式を活用した株式先渡売買契約を現金で決済

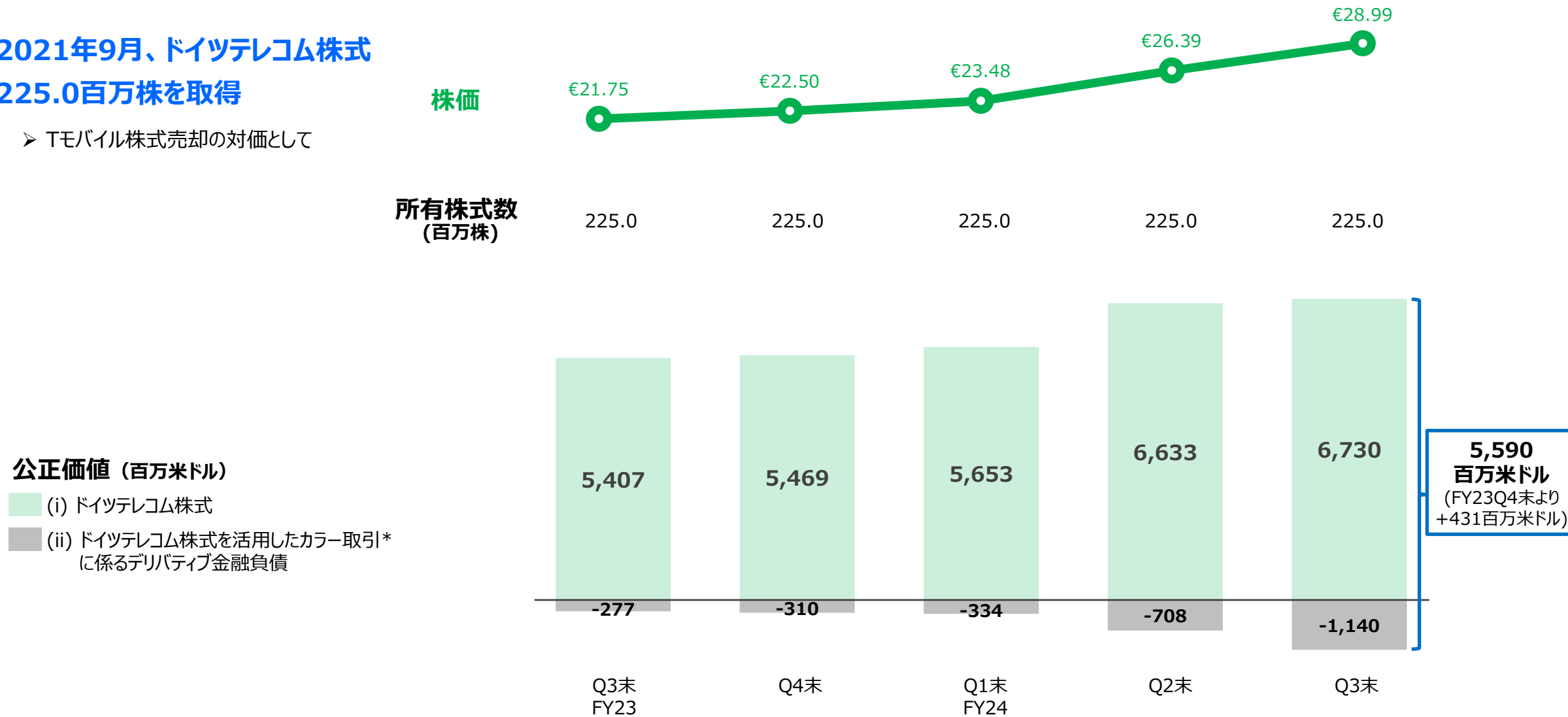
\* ドイツテレコムが保有していたコールオプション未行使分に係るデリバティブ金融負債の公正価値控除後



# ドイツテレコム株式：当社所有株式数および公正価値

## 2021年9月、ドイツテレコム株式 225.0百万株を取得

➤ Tモバイル株式売却の対価として



\* 225百万株が対象

# アリババ株式とデリバティブ金融資産負債：B/S計上額

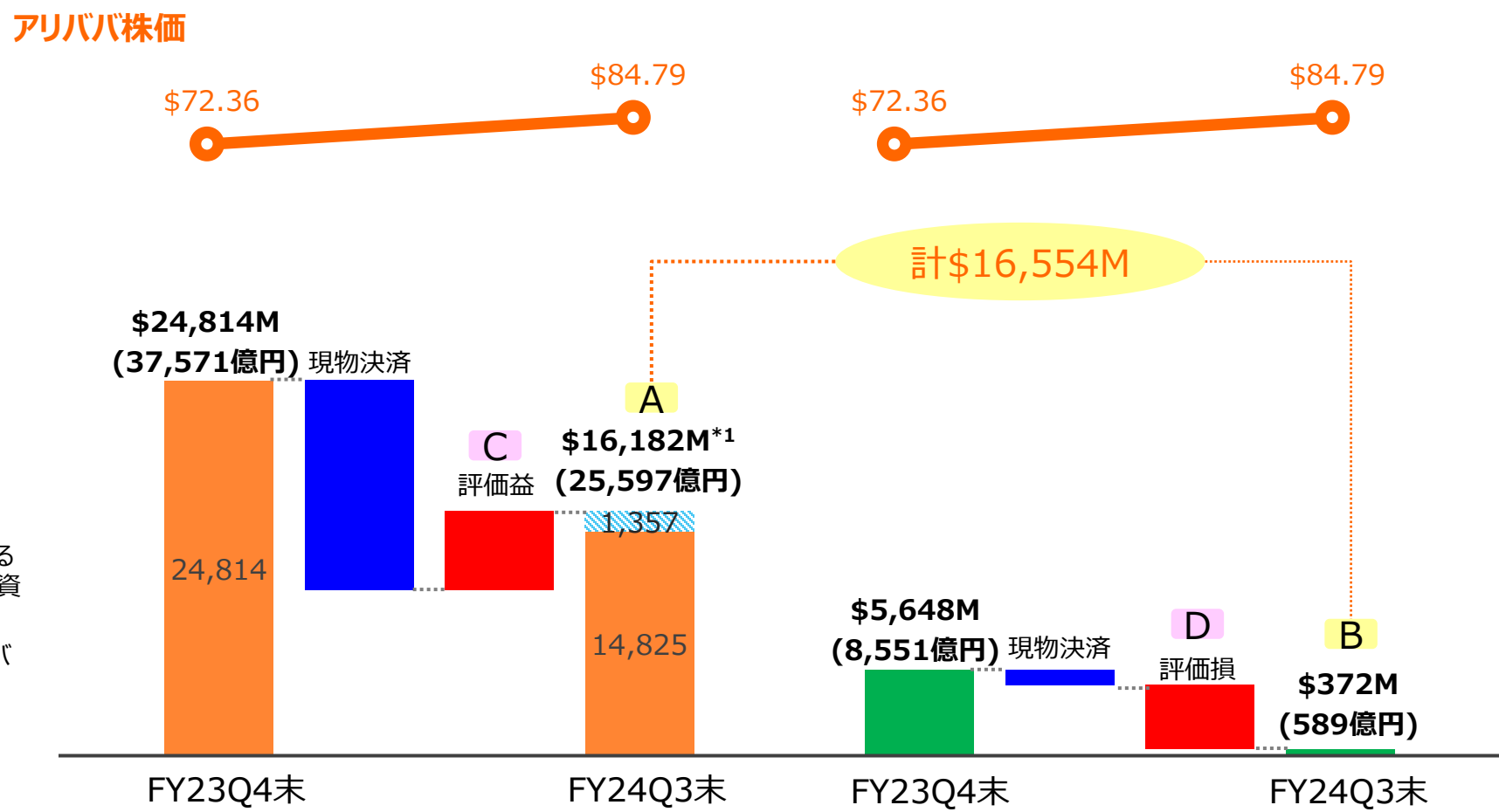
先渡売買契約考慮後の  
アリババ株式B/S計上額  
16,554百万米ドル  
( A + B )

株式評価益( C )のうち、  
株式先渡売買契約に使用  
している株式に係る評  
価益はデリバティブ評価  
損( D )とほぼオフセット

- 株式先渡売買契約の現物決済に使用  
することを2024年12月末までに決定している  
アリババ株式(「売却目的保有に分類された資  
産」として計上)
- 株式先渡売買契約に使用されているアリババ  
株式\*2(「投資有価証券」として計上)
- デリバティブ金融資産負債 (純額)

## 投資有価証券 (FVTPL)\*1

## デリバティブ金融資産負債 (純額)



\*1 2025年1月に決済期日が到来するアリババ株式を利用した先渡売買契約のうち、現物決済に使用することを2024年12月末までに決定した同社株式1,357百万米ドル (2,146億円) を「売却目的保有に分類された資産」へ振り替えたが、その振替分も含めて表示している。  
\*2 株式先渡売買契約に使用されていないアリババ株式 (FY23Q4末：34百万米ドル、FY24Q3末：40百万米ドル) を含む。

(億円)

P/L項目	FY23 Q1-Q3	FY24 Q1-Q3	FY24Q1-Q3摘要
<b>SVF事業からの投資損益</b>	<b>7,819</b>	<b>2,576</b>	当社子会社への投資に係る投資損益を含む
<b>SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益</b>	<b>7,453</b>	<b>2,873</b>	<b>SVF1 : 7,403億円、SVF2 : -4,534億円</b>
投資の実現損益	9,350	-13,132	SVF1 : -6,296億円、SVF2 : -6,730億円
投資の未実現評価損益	-1,086	13,484	
当期計上額	-1,255	1,959	SVF1 : 6,555億円、SVF2 : -4,567億円
過年度計上額のうち実現損益への振替額	169	11,525	過年度に計上した、SVF1における未実現評価損失-5,328億円（うち、WeWorkの未実現評価損失-3,583億円）およびSVF2における未実現評価損失-6,080億円（うち、WeWorkの未実現評価損失-4,902億円）を実現損失へ振替
投資先からの利息及び配当金	213	73	
投資に係るデリバティブ関連損益	29	-34	
為替換算影響額	-1,052	2,482	未実現評価損益と実現損益の換算に使用する為替レートの差により生じた金額
<b>その他の投資損益</b>	<b>366</b>	<b>-296</b>	
販売費及び一般管理費	-640	-512	
財務費用	-645	-307	
SVFにおける外部投資家持分の増減額	-3,784	-3,599	外部投資家持分の割合が大きいSVF1において投資利益7,403億円を計上したことに伴い、外部投資家持分（成果分配型投資家帰属分）の増加額2,835億円を計上。また、外部投資家持分（固定分配型投資家帰属分）の増加額823億円の計上も寄与
その他の損益	-500	431	
<b>セグメント利益（税引前利益）</b>	<b>2,249</b>	<b>-1,411</b>	

# (参考) SVF1&2投資の状況

(十億米ドル)

	活動開始来累計			FY24*1	
	投資額*2	リターン*2	損益	Q3 損益計上額	Q1-Q3 損益計上額
<b>SVF1</b>	<b>89.5</b>	<b>111.1</b>	<b>21.6</b>	<b>-1.0</b>	<b>4.8</b>
エグジットした投資	44.5	66.5	22.0	0.4	-4.0
エグジット前の投資	45.0	42.1	-2.9	-1.2	4.3
FY24にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替				-0.2	4.5
デリバティブ/受取利息/配当金	-0.0	2.5	2.5	0.0	0.0
<b>SVF2</b>	<b>55.2</b>	<b>33.0</b>	<b>-22.2</b>	<b>-1.2</b>	<b>-2.9</b>
エグジットした投資	7.8	3.8	-4.0	-0.4	-4.3
エグジット前の投資	47.1	29.1	-18.0	-1.1	-2.9
FY24にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替				0.5	4.4
デリバティブ/受取利息/配当金	0.3	0.1	-0.2	-0.2	-0.1

\*1 「エグジットした投資」のFY24Q3およびQ1-Q3損益計上額は、当該投資のエグジット金額から投資額を差し引いた金額。過年度またはFY24Q1-Q2に計上した当該投資に係る未実現評価損益については、「FY24にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替」に表示している。

\*2 投資額は、デリバティブについてはデリバティブ原価を表す。リターンは、エグジットした投資についてはエグジット金額を、エグジット前の投資については公正価値を、デリバティブについては既決済契約の決済額または未決済契約の公正価値を、受取利息または配当金については各受領額を指す。

# 当社からSVF2への投資移管

- **SBGおよび主要投資子会社の投資ポートフォリオの再整理の一環**として、未公開投資先6銘柄のSVF2への移管を決定\*1
- FY24Q3に5銘柄を移管完了、FY24Q4に1銘柄を移管予定（規制当局の承認後）
- 移管価額は移管日の公正価値を使用。**全銘柄移管後に独立した外部機関による評価査定に基づき最終化予定。**FY24Q3に移管した5銘柄は、暫定的に算定した価額を使用
- 6銘柄の当社取得額：19.5億米ドル、暫定的に算定した価額：19.0億米ドル



\*1 2024年10月21日のSBG取締役会で決議

\*2 デリバティブを含む

# SBG短信アーム事業とアーム開示値とのブリッジ (FY24Q1-Q3業績)

	SBG短信 アーム事業 (IFRS)		調整項目①	調整項目②	アーム 開示値 (US GAAP)		
	¥M	\$M	SBGがアーム買収時 に行った取得原価配 分により計上した無 形資産の償却費	会計基準の差 (IFRS vs US GAAP)	\$M	\$M	
<b>売上高</b>	<b>422,534</b>	<b>2,766</b>	-	-	<b>2,766</b>	<b>Total revenue</b>	
売上原価		-95	-	2	-93	Cost of sales	
営業費用		-2,654	319	83 <b>A</b>	-2,252	Operating expenses	
その他損益		95	-	60 <b>B</b>	155	Other income/loss	
<b>セグメント利益 (税引前利益)</b>	<b>17,230</b>	<b>112</b>	<b>319</b>	<b>145</b>	<b>576</b>	<b>Income before income taxes</b>	

- A** 主な要因：株式報酬に係る会計処理の違いによる影響
- B** 主な要因：投資有価証券に係る会計処理の違いによる影響

(注) 上記の表において売上高を除くセグメント利益の構成要素は、当該ブリッジの目的としてのみ使用

# 連結P/L総括

(億円)

P/L項目	FY23 Q1-Q3	FY24 Q1-Q3	増減
売上高	50,019	53,026	+3,007
売上総利益	26,652	27,850	+1,199
投資損益			
持株会社投資事業からの投資損益	-5,834	① 20,085	+25,919
SVF事業からの投資損益	-520	② 2,608	+3,127
その他の投資損益	965	-992	-1,957
<b>投資損益合計</b>	<b>-5,389</b>	<b>21,700</b>	<b>+27,090</b>
販売費及び一般管理費	-21,236	③ -22,065	-829
財務費用	-4,268	④ -4,327	-59
為替差損益	-3,082	⑤ -2,519	+563
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	11,803	⑥ -7,912	-19,714
SVFにおける外部投資家持分の増減額	-3,784	⑦ -3,599	+185
その他の損益	1,946	⑧ 3,581	+1,635
<b>税引前利益</b>	<b>2,641</b>	<b>12,709</b>	<b>+10,069</b>
法人所得税	-3,838	⑨ -2,132	+1,705
<b>純利益</b>	<b>-1,197</b>	<b>10,577</b>	<b>+11,774</b>
非支配持分に帰属する利益	3,390	4,215	+825
<b>親会社の所有者に帰属する純利益</b>	<b>-4,587</b>	<b>6,362</b>	<b>+10,949</b>

- ① ・アリババ株式に係る投資利益：9,029億円  
・Tモバイル株式に係る投資利益 (投資に係るデリバティブ関連損益および為替換算影響額を含む)：7,519億円
- ② SVF1：6,682億円、SVF2：-3,782億円、LatAmファンド：4億円、その他：-296億円
- ③ ・ソフトバンク事業：-1兆5,664億円  
・アーム事業：-4,052億円
- ④ SBGと資金調達を行う100%子会社の支払利息：-3,310億円
- ⑤ 円安の影響 (詳細はp18-19参照)  
(参考) 為替換算差額の増加額 (連結B/S)：+6,457億円
- ⑥ アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連損失：-6,359億円
- ⑦ SVF1で投資利益7,403億円を計上したことに伴い、外部投資家持分 (成果分配型投資家帰属分) の増加額2,835億円を計上。また、外部投資家持分 (固定分配型投資家帰属分) の増加額823億円を計上
- ⑧ ・フォートレスの支配喪失利益：931億円  
・SBE Globalの子会社化に伴う再測定益：556億円
- ⑨ ・SBKK、LINEヤフーなどの事業会社で法人所得税を計上  
・SBG単体や100%子会社で、保有する投資有価証券の公正価値増加を主要要因として法人所得税を計上

アームやSBKKなどの当社子会社は連結されるため、株式の公正価値の変動は連結P/Lに計上せず

# 連結B/S総括 - 1

(億円)

B/S項目	主な科目	2024/3月末	2024/12月末	増減
		<b>114,414</b>	<b>103,335</b>	<b>-11,079</b>
流動資産	現金及び現金同等物	61,869	① 46,600	-15,269
	デリバティブ金融資産	8,524	2,213	② -6,311
	その他の金融資産	7,780	14,458	③ +6,678
	その他の流動資産	5,510	4,734	-776
	売却目的保有に分類された資産	426	2,474	④ +2,048
		<b>352,829</b>	<b>366,956</b>	<b>+14,128</b>
非流動資産	有形固定資産	18,953	27,073	⑤ +8,120
	のれん	57,099	59,912	⑥ +2,813
	無形資産	24,488	24,554	+66
	持分法で会計処理されている投資	8,392	6,527	-1,865
	SVFからの投資 (FVTPL)	110,145	117,566	⑦ +7,421
	SVF1	60,420	66,634	+6,214
	SVF2	40,969	42,023	+1,054
	LatAmファンド	8,756	8,909	+153
	投資有価証券	90,620	87,438	⑧ -3,181
	デリバティブ金融資産	3,855	1,893	-1,962
その他の金融資産	24,243	26,282	+2,039	
	<b>資産合計</b>	<b>467,242</b>	<b>470,291</b>	<b>+3,049</b>

- ① 持株会社投資事業 (SBGおよび資金調達を行う100%子会社等) : 1兆9,607億円 (-1兆3,989億円)
- ② アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ金融資産の減少 : -7,053億円 (同社株式先渡売買契約について、円安影響や決済日まで1年以内となったデリバティブ金融資産を非流動資産から振り替えたことによる増加があったものの、一部契約の現物決済や、同社株式の株価上昇により減少)
- ③ 資産運用子会社からの投資の増加 : +7,364億円 (社債の取得等)
- ④ 2025年1月に決済日が到来するアリババ株式先渡売買契約のうち、2024年12月末までに現物決済に使用することを決定した同社株式を「投資有価証券」から振り替え : +2,146億円
- ⑤ SBE Globalの子会社化に伴う有形固定資産の計上 : +7,276億円
- ⑥ アーム : +1,603億円 (円安の影響)
- ⑦ 期末日の対米ドルの為替換算レートが4.5%円安となったことによる帳簿価額の増加が主な要因  
米ドルベース :  
・SVF1 : 公正価値増加 +42.5億米ドル、売却 -20.3億米ドル  
・SVF2 : 公正価値減少 -24.7億米ドル、投資 +23.5億米ドル (SBGから取得した投資を含む)、売却 -3.8億米ドル
- ⑧ 詳細はp14参照



# 連結B/S 投資有価証券 (主な投資先)

(億円)

	2024/3月末	2024/12月末	増減	摘要
<b>投資有価証券</b>	<b>90,620</b>	<b>87,438</b>	<b>-3,181</b>	
<b>FVTPL</b>	<b>83,215</b>	<b>78,370</b>	<b>-4,844</b>	
Tモバイル	22,758 \$15,031M	29,804 \$18,842M	+7,046 +\$3,811M	ドイツテレコムが保有していたコールオプションの一部行使に伴い6.7百万株を売却した一方で、同社株価の上昇により帳簿価格が増加
アリババ	37,571 \$24,814M	23,451 \$14,825M	-14,120 -\$9,988M	・先渡売買契約の一部を現物決済 ・2025年1月に決済日が到来するアリババ株式を利用した先渡売買契約のうち、現物決済への使用を2024年12月末までに決定した同社株式2,146億円を「売却目的保有に分類された資産」へ振り替え 上記が、同社株価上昇に伴う帳簿価額の増加を上回る
ドイツテレコム	8,280 \$5,469M	10,646 \$6,730M	+2,366 +\$1,262M	株価上昇により、帳簿価額が増加
NVIDIA	1,438	2,233	+795	株価上昇により、帳簿価額が増加
Symbolic*	1,834	1,009	-824	株価下落により、帳簿価額が減少
SBKKグループ保有	1,977	1,778	-199	
その他	9,357	9,449	+92	
公開銘柄 (計12銘柄)	2,028	2,117	+89	Lemonade、Tempus AI、Eutelsat等
非公開銘柄 (計約240銘柄)	7,328	7,332	+3	Wayve、Boston Dynamics等
<b>FVTOCI等</b>	<b>7,405</b>	<b>9,068</b>	<b>+1,663</b>	

(注) 期末日の対米ドルの為替換算レートが4.5%円安となったことによる帳簿価額の増加を含む。

\* SVF2およびSB Northstarが保有するSymbolic株式を除く。

# 連結B/S のれん・無形資産の内訳

(億円)

B/S 項目	主な内訳	2024/ 3月末	2024/ 12月末	増減			摘要
				償却費	為替変動	その他	
		<b>57,099</b>	<b>59,912</b>				
のれん*	アーム	35,850	37,453	—	+1,603	—	
	SBKK	9,139	9,139	—	—	—	
	LINEヤフー	4,783	4,783	—	—	—	
	ZOZO	2,140	2,140	—	—	—	
主な無形資産	<b>テクノロジー</b>	<b>3,590</b>	<b>3,323</b>				
	主な内訳						
	アーム	3,383	3,156	-366	+138	—	定額法 償却年数：8-20年
	<b>顧客基盤</b>	<b>5,923</b>	<b>5,602</b>				
	主な内訳						
	ZOZO	2,646	2,549	-98	—	—	定額法 償却年数：18-25年
LINEヤフー	1,908	1,807	-101	—	—	定額法 償却年数：12-18年	
アーム	843	758	-118	+33	—	定額法 償却年数：13年	
<b>商標権</b>	<b>5,530</b>	<b>5,511</b>				主に「ZOZOTOWN」、「Yahoo!」（日本における商標権）、「LINE」	

\* SBGによる支配獲得時に認識したのれんの金額。支配獲得後に当該子会社が行ったM&Aの結果認識したのれんは含まない。ただし、アームはFY20の組織構造変更の結果、アーム事業に再配分された金額。

(億円)

B/S項目	主な科目	2024/3月末	2024/12月末	増減
		<b>140,203</b>	<b>135,069</b>	<b>-5,134</b>
流動負債	有利子負債	82,711	① 73,462	-9,249
	リース負債	1,498	1,620	+122
	銀行業の預金	16,432	18,572	+2,140
	営業債務及びその他の債務	27,105	31,398	+4,292
	デリバティブ金融負債	1,951	1,820	② -131
	その他の金融負債	318	852	+534
	未払法人所得税	1,632	1,084	-548
	その他の流動負債	8,013	5,832	-2,181
		<b>194,668</b>	<b>189,477</b>	<b>-5,191</b>
非流動負債	有利子負債	122,964	① 117,825	-5,139
	リース負債	6,447	7,356	+909
	SVFにおける外部投資家持分	46,945	42,604	③ -4,341
	デリバティブ金融負債	412	966	+553
	その他の金融負債	570	1,308	+738
	繰延税金負債	12,530	14,596	+2,066
	その他の非流動負債	3,120	3,493	+374
<b>負債合計</b>		<b>334,871</b>	<b>324,546</b>	<b>-10,325</b>

① **SBG**

借入金\* : 1兆13億円 (+5,383億円)  
社債\* : 6兆8,105億円 (+6,630億円)

**資金調達を行う100%子会社**

借入金\* : 2兆3,285億円 (+579億円)  
株式先渡契約金融負債\* : 2兆6,120億円 (-2兆5,605億円)

**SVF**

借入金\* : 5,402億円 (-77億円)

\*流動+非流動。詳細はFY24Q3決算短信p28-29参照

②

- ・ドイツテレコム株式の株価上昇による、同社株式のカラー取引に係るデリバティブ金融負債の増加 : +1,173億円
- ・ドイツテレコムが保有していたコールオプションの一部を行使し、当社が6.7百万株のTモバイル株式を売却したほか、残り全てのコールオプションが消滅したことに伴う、デリバティブ金融負債の減少 : -707億円 (詳細はp5参照)
- ・Tモバイル株式の先渡売買契約に係るデリバティブ金融負債の減少 : -283億円 (詳細はp5参照)
- ・アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ金融負債の減少 : -155億円

③


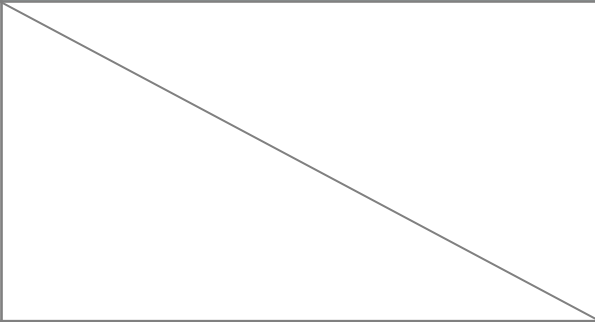

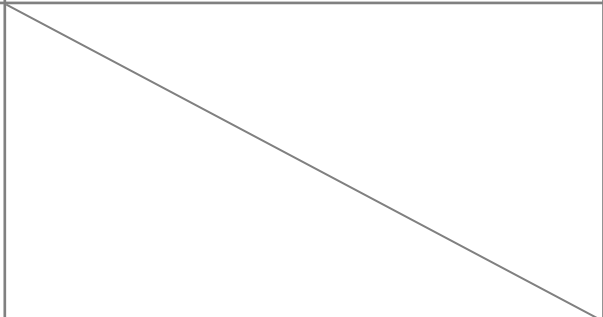

SVF1が外部投資家へ分配・返還を行ったことにより減少

(億円)

B/S項目	主な科目	2024/3月末	2024/12月末	増減
		<b>132,372</b>	<b>145,746</b>	<b>+13,374</b>
資本合計	資本金	2,388	2,388	—
	資本剰余金	33,261	33,569	+308
	その他の資本性金融商品	1,932	1,932	—
	利益剰余金	16,330	21,938	① +5,608
	自己株式	-227	-2,273	② -2,046
	その他の包括利益累計額	57,938	64,709	③ +6,770
	親会社の所有者に帰属する持分合計	111,621	122,263	+10,641
	非支配持分	20,750	23,483	④ +2,732
親会社の所有者に帰属する持分比率 (自己資本比率)		<b>23.9%</b>	<b>26.0%</b>	<b>+2.1%</b>

- ① 親会社の所有者に帰属する純利益：+6,362億円
- ② 自己株式の取得：-2,069億円
- ③ 円安の影響で在外営業活動体の為替換算差額が増加：+6,457億円  
(海外を拠点とする子会社・関連会社の財務諸表を円換算する際に生じる為替換算差額が、対米ドルの為替換算レートが円安となったことなどにより増加。詳細はp18-19参照)  
(参考) FY24Q1-Q3の為替差損益(連結P/L)：-2,519億円 (p12参照)
- ④ SBKKが社債型種類株式を発行：+2,000億円

# P/L・B/Sへの円安影響（概念図）

エンティティー	種別	P/L 為替差損益	B/S 為替換算差額
SBG単体+ 国内資金調達子会社	外貨建現預金・ 貸付金 (投資を除く)	 為替差益 (p19-20参照)	
	外貨建負債 (借入金・社債)	 為替差損 (p19-20参照)	
機能通貨が外貨の 在外子会社・関連会社 (例：SVF1/2 & LatAmファンド、アーム)	純資産 (プラス)		 為替換算差額 (p17参照)

# FY24Q1-Q3の円安影響 (2024年3月末¥151.41/\$ → 2024年12月末¥158.18/\$)

## FY24Q1-Q3 連結P/L 為替差損 : 2,519億円

SBG単体 グループ会社からの外貨建借入に係る為替差損 : 2,754億円、外貨建社債に係る為替差損 : 168億円 (米ドル建永久ハイブリッド債を含まない)

(参考) SBG単体残高	FY23末 期末日レート : ¥151.41/\$	FY24Q3末 期末日レート : ¥158.18/\$
外貨建負債 (借入金・社債) (グループ会社からの借入を含む)	\$51.2 B	\$41.6 B
外貨建現預金・貸付金等 (投資を除く)	\$13.8 B (うち、現預金\$9.9B、貸付金\$3.9B)	\$9.2 B (うち、現預金\$5.8B、貸付金\$3.4B)
ネット (負債)	\$37.4B	\$32.4B

## FY24Q3末 連結B/S 為替換算差額残高 : 64,402億円 (FY23末比+6,457億円)

主に子会社株式・関連会社への投資に関わるもの

(参考) 子会社純資産	FY23末 期末日レート : ¥151.41/\$	FY24Q3末 期末日レート : ¥158.18/\$	増減	連結B/S 為替換算差額増減 ((B) - (A) × FY24Q1-Q3の 期中平均レート ¥152.87/\$) <sup>*1</sup>
SVF1/2 & LatAmファンド (外部投資家持分および アーム株式簿価を控除後)	\$58.6B 88,723億円	\$60.4B 95,521億円	+\$1.8B <sup>(A)</sup> +6,798億円 <sup>(B)</sup>	+4,062億円
SBGC <sup>*2</sup> (アーム株式簿価を控除後)	\$18.3B 27,635億円	\$24.8B 39,282億円	+\$6.5B <sup>(A)</sup> +11,647億円 <sup>(B)</sup>	+1,585億円
アーム	\$29.5B 44,604億円	\$30.3B 47,987億円	+\$0.8B <sup>(A)</sup> +3,383億円 <sup>(B)</sup>	+2,041億円

\*1 連結上の内部取引も考慮している。

\*2 SoftBank Group Capital Limited

# FY24Q3の円安影響 (2024年9月末¥142.73/\$ → 2024年12月末¥158.18/\$)

## FY24Q3 連結P/L 為替差損：5,409億円

SBG単体 グループ会社からの外貨建借入に係る為替差損：5,950億円、外貨建社債に係る為替差損：390億円 (米ドル建永久ハイブリッド債を含まない)

(参考) SBG単体残高	FY24Q2末 期末日レート：¥142.73/\$	FY24Q3末 期末日レート：¥158.18/\$
外貨建負債 (借入金・社債) (グループ会社からの借入を含む)	\$44.8 B	\$41.6 B
外貨建現預金・貸付金等 (投資を除く)	\$11.0 B (うち、現預金\$7.6B、貸付金\$3.4B)	\$9.2 B (うち、現預金\$5.8B、貸付金\$3.4B)
ネット (負債)	\$33.8B	\$32.4B

## FY24Q3末 連結B/S 為替換算差額残高：64,402億円 (FY24Q2末比+19,544億円)

主に子会社株式・関連会社への投資に関わるもの

(参考) 子会社純資産	FY24Q2末 期末日レート：¥142.73/\$	FY24Q3末 期末日レート：¥158.18/\$	増減	連結B/S 為替換算差額増減 ( (B) - (A) × FY24Q3の 期中平均レート ¥151.32/\$ ) <sup>*1</sup>
SVF1/2 & LatAmファンド (外部投資家持分および アーム株式簿価を控除後)	\$60.9B 86,932億円	\$60.4B 95,521億円	-\$0.5B <sup>(A)</sup> +8,589億円 <sup>(B)</sup>	+9,374億円
SBGC <sup>*2</sup> (アーム株式簿価を控除後)	\$24.7B 35,267億円	\$24.8B 39,282億円	+\$0.1B <sup>(A)</sup> +4,015億円 <sup>(B)</sup>	+3,826億円
アーム	\$30.0B 42,835億円	\$30.3B 47,987億円	+\$0.3B <sup>(A)</sup> +5,152億円 <sup>(B)</sup>	+4,659億円

\*1 連結上の内部取引も考慮している。

\*2 SoftBank Group Capital Limited

(億円)

C/F項目	FY23 Q1-Q3	FY24 Q1-Q3	FY24Q1-Q3の主な内訳	
営業活動 によるCF	+1,497	① +1,492	+5,305	営業キャッシュ・フロー小計
			-3,451	法人所得税の支払額
			+1,635	法人所得税の還付額
投資活動 によるCF	-9,192	-5,892	② -5,665	投資の取得による支出
			③ +3,367	投資の売却または償還による収入
			-2,491	SVFによる投資の取得による支出
			+3,870	SVFによる投資の売却による収入
			④ -1,942	子会社の支配獲得による収支
			-5,582	有形固定資産及び無形資産の取得による支出
			⑤ +1,170	貸付金の回収による収入
財務活動 によるCF	-2,646	-12,753	⑥ +36,233	有利子負債の収入
			⑦ -31,753	有利子負債の支出
			⑧ -9,709	SVFにおける外部投資家に対する分配額・返還額
			+2,000	子会社におけるその他の資本性金融商品の発行による収入
			-2,069	自己株式の取得による支出
			-639	配当金の支払額
			-3,668	非支配持分への配当金の支払額
現金及び現金同等物に係る換算差額等	2,726	1,884		
現金及び現金同等物の増減額	-7,615	-15,269		
現金及び現金同等物の期首残高	69,252	61,869		
現金及び現金同等物の期末残高	61,637	46,600		

- ① SB Northstarにおける社債への投資があったものの、1,492億円のキャッシュ・イン・フロー（純額）
  - ・法人所得税の支払額：-3,451億円（主にSBKK）
  - ・法人所得税の還付額：+1,635億円（SBG単体がFY23に中間納付した法人所得税1,180億円について、767億円の還付を受領）
- ② ・SBGおよび100%子会社：-2,368億円（主にWayveへの投資。米国債への投資を除く）
  - ・PayPay銀行：-2,396億円（債券などの資産運用商品に投資）
- ③ ・ドイツテレコムのコールオプション一部行使に伴う、Tモバイル株式6.7百万株の売却：+670百万米ドル
  - ・SBG：+739億円（米国債の売却）
  - ・PayPay銀行：+657億円（債券などの資産運用商品を売却）
- ④ SBE GlobalおよびGraphcoreを子会社化
- ⑤ 2020年6月から8月のTモバイル株式売却取引に関連して当社元役員に貸し付けていた貸付金を回収
- ⑥ **SBG**
  - ・短期借入、タームローン、ハイブリッドローン等：+1兆134億円
  - ・社債発行：+1兆円（国内普通社債）、+900百万米ドル（米ドル建普通社債）、+900百万ユーロ（ユーロ建普通社債）
- SBKK**
  - ・割賦債権の流動化、セール&リースバックなど：+8,688億円
  - ・国内普通社債発行：+800億円
- ⑦ **SBG**
  - ・短期借入金、ハイブリッドローン等返済：-5,035億円
  - ・社債償還：-4,500億円（国内普通社債）、-767百万米ドル（米ドル建普通社債）、-638百万ユーロ（ユーロ建普通社債）
- 資金調達を行う100%子会社**  
Tモバイル株式先渡売買契約を現金決済するための支出のうち、株式先渡契約金融負債の決済分：-4,445億円（デリバティブ金融負債の決済分-617億円は財務C/Fその他に計上）
- SBKK**  
割賦債権の流動化、セール&リースバックなどによる借入金返済：-1兆838億円
- ⑧ SVF1による外部投資家への分配・返還



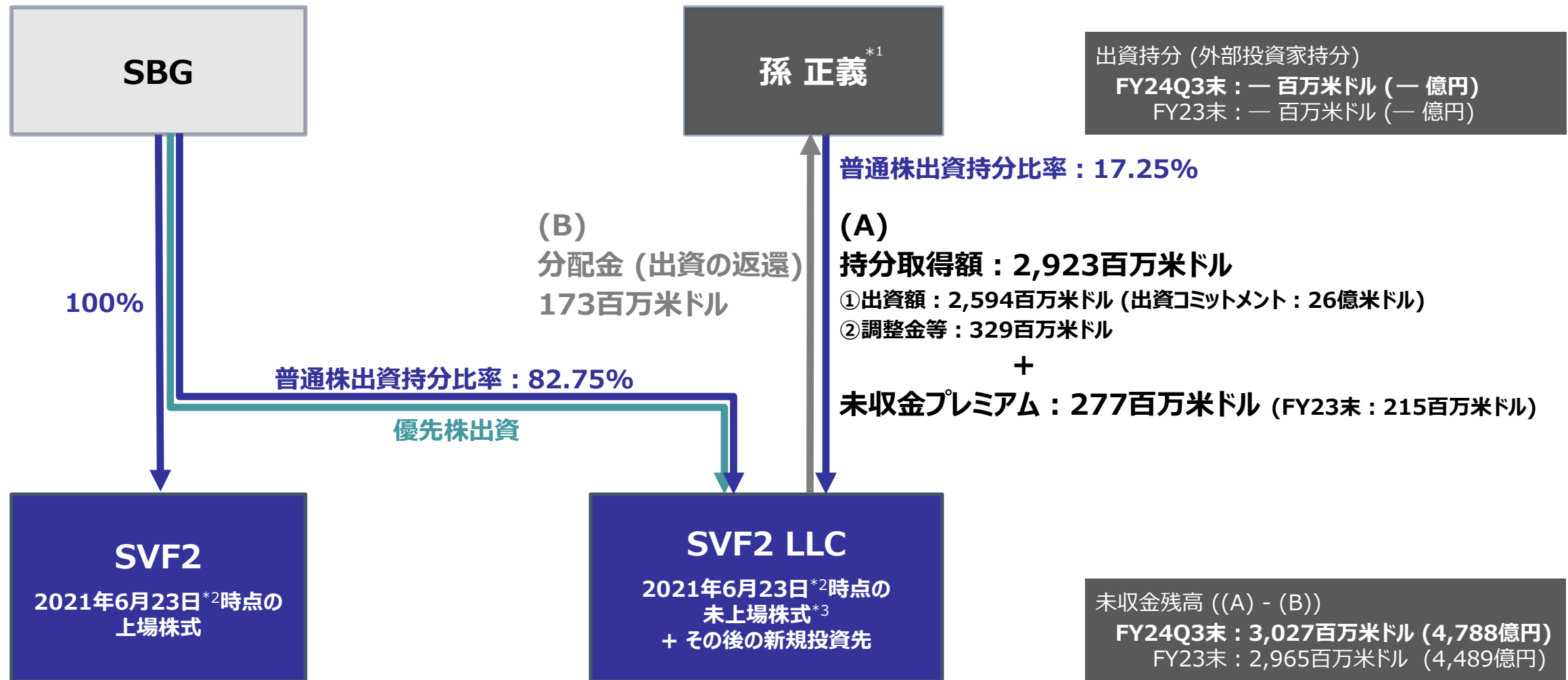
# 連結ベースの法人所得税の支払額（純額）

	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	5年計	(億円) FY24 Q1-Q3
<b>連結ベース</b>	<b>7,574</b>	<b>3,245</b>	<b>5,893</b>	<b>5,259</b>	<b>8,168</b>	<b>30,139</b>	<b>1,815</b>
国内	6,963	1,895	5,512	4,697	7,170	26,237	1,221
SBGおよび国内 中間持株会社 (100%子会社)	4,458	-853	2,000	2,142	4,433	12,180	-491
国内事業会社 (主にSBKK、 LINEヤフー等)	2,505	2,748	3,512	2,555	2,737	14,057	1,712
海外	611	1,350	381	562	998	3,902	594

(注)

- ・納税額と還付額の純額を記載。
- ・法人所得税の支払額（連結）は、連結キャッシュ・フロー計算書における「法人所得税の支払額」と「法人所得税の還付額」の純額に一致。
- ・FY20のSBGおよび国内中間持株会社の支払額がマイナスとなっているのは、FY19に支払った源泉所得税1,430億円がFY20に還付されたことによるもの。
- ・FY23のSBGおよび国内中間持株会社の支払額4,433億円には中間納付1,180億円が含まれ、このうち767億円は2024年7月末までに還付された。

# SVF2共同出資プログラム：関連当事者との取引



(注) 関連当事者との取引の詳細はFY24Q3決算短信p67-68参照。

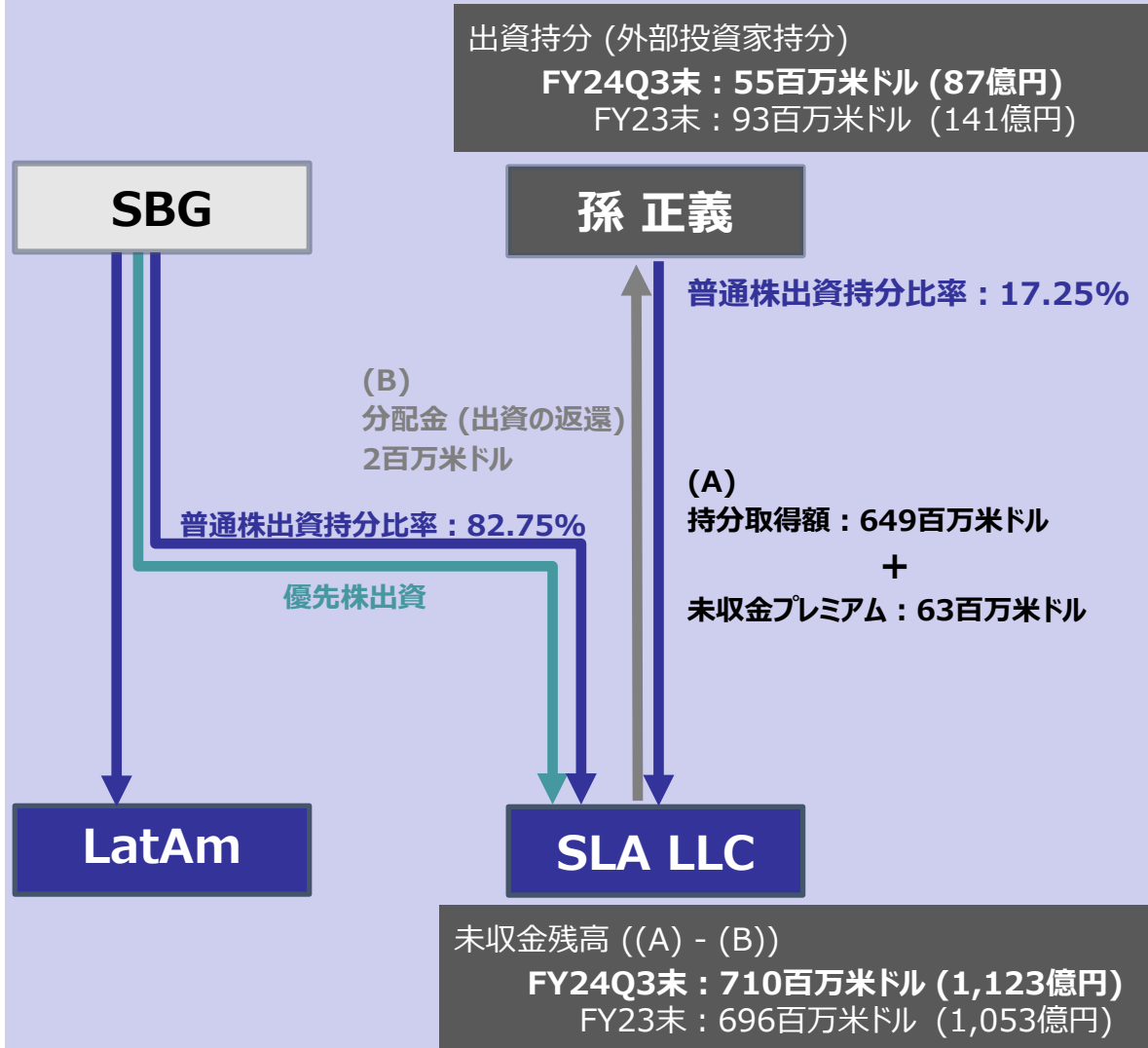
\*1 孫正義以外の経営陣の参加は現時点では未決定だが、将来的に参加を予定。

\*2 2021年6月23日はSBG取締役会において本共同投資プログラムが条件付きで承認された日。

\*3 2021年6月23日時点で上場済または上場発表済の投資先、並びに、SBG取締役会で本プログラムの対象から除外することが承認された投資先を除く。

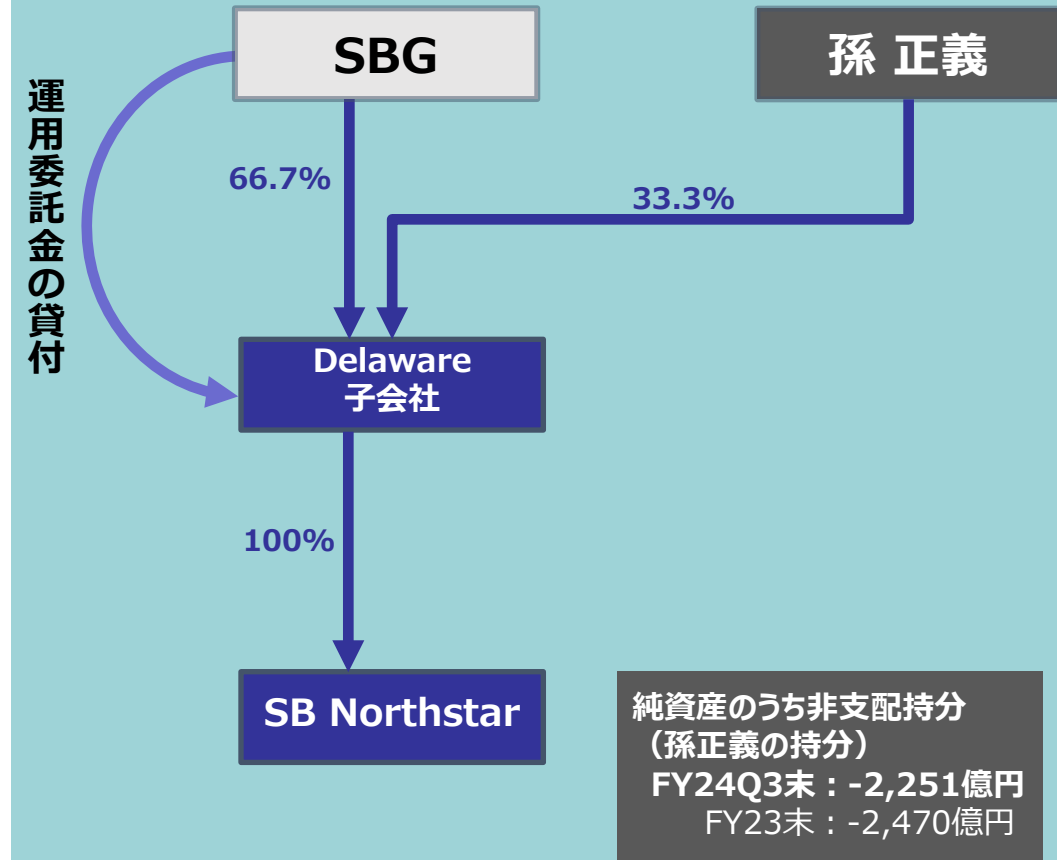
# LatAm共同出資プログラムおよび資産運用子会社へのマネジメント出資

## LatAm共同出資プログラム



(注) 詳細はFY24Q3決算短信p69-70参照。

## 資産運用子会社へのマネジメント出資



(注) 詳細はFY24Q3決算短信p11参照。  
 FY24Q3末の貸付に係る利息等を含む非支配持分 (孫正義の持分) は-3,947億円。